

トップコミットメント



近年、地球温暖化等の環境問題やひつ迫傾向を強める世界的な食料需給の問題、食の安全を脅かす事件の頻発など、わが国農林水産業に密接にかかわる世界的な問題が深刻さを増すなかで、国内における食料生産・供給力の強化や農業・農村の持つ国土・環境保全等の多面的機能に対する国民の関心・期待が高まっています。

こうしたなかで、「農林水産業の発展に寄与し、もって国民経済の発展に資すること」を目的に設立された当金庫は、金融機能を通じた貢献はもとより、より農林水産業・農山漁村の振興に寄与すべく現場の視点に立ったCSR活動の取組みの幅を広げることに、その基本的使命を永続的に果たし、社会全体の持続可能な発展に貢献していきたいと考えております。

具体的には、現行の中期経営計画において、「社会的責任(CSR)の遂行」を重要テーマと位置付け、信頼の基盤となる内部管理態勢の強化に努めるとともに、本編でご報告した「JAバンクアグリサポート事業」や「森林再生基金(FRONT80)」など、ここ数年で新たに取り組んだCSR活動を一歩一歩着実に実践し、地に足の着いた意味ある活動にしていく所存です。

また、こうした当金庫のCSRについては、出資者のみなさまをはじめとする幅広いステークホルダーのみなさまに、これまでの活動とその根底にある理念をお伝えし、ご理解いただくとともに、みなさまとのコミュニケーションを大切にしていくことが極めて重要であると考えております。

今回、当金庫では初めてCSRにかかる報告書を発行することといたしました。みなさまにとって、読みやすく、分かりやすい報告書となるよう努めたつもりでございますが、忌憚のないご意見、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

代表理事 理事長

上野 博史